

IG-0200 ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・伊賀鉄道200系(先頭車化改造車にも対応します。)
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(チラツキ対策を施しています。)

注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】
・ライトユニット : 1個/セット






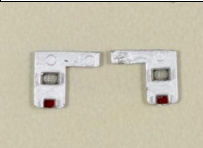
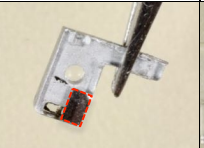
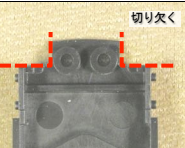
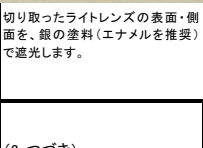
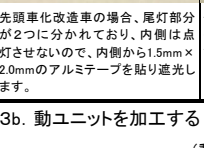
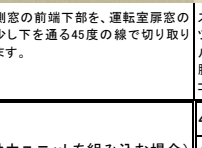
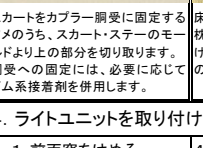
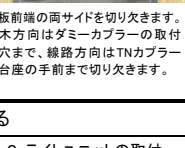

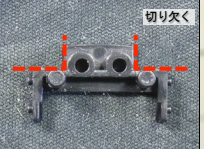
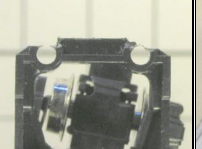
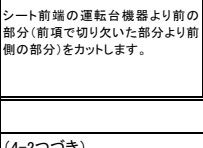
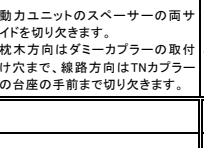
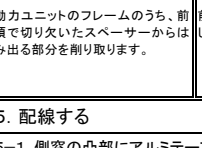
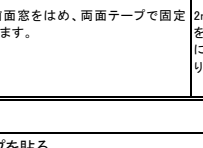
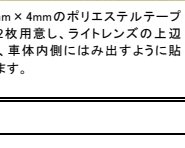


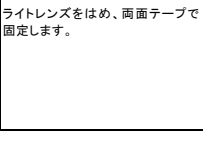
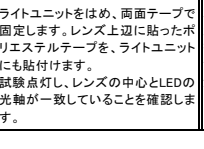
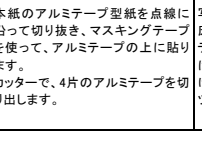
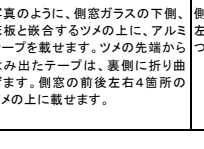
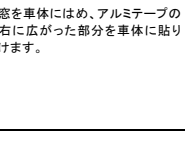
【その他】
・説明書(本紙) : 1枚
・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱


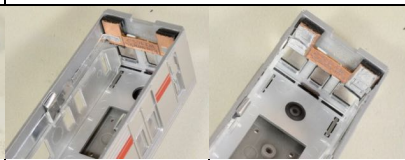
※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

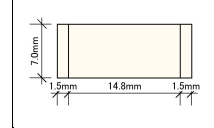
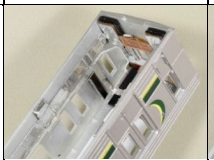

- ・カッティングマット
- ・ピンセット
- ・ニッパ
- ・プラスチックドライバー
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビエ」など)
- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)
- ・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ボンチ(プッシュピンなども可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・遮光用の塗料(黒及び銀)

●取り付け手順

1. 分解する				2. 車体を加工する。
1-1 床板を外す	1-2 バンタグラフを外す	1-3 側窓を外す	1-4 前面窓を外す	2-1 前面透明パーツの加工
				
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	バンタグラフを、楊枝などで内側から押し外します。	側窓を、前面とのかみ合い部をコジって外します。	前面透明パーツを外します。	前面透明パーツを、前面窓直下で切断し、ライトレンズを切り離します。双方の切断面をヤスリで整えます。
(2-1つづき)				3a. 床板を加工する (トレーラー車の場合)
		2-2 側窓を加工する	2-3 スカートを加工する	
				
切り取ったライトレンズの表面・側面を、銀の塗料(エナメルを推奨)で遮光します。	先頭車化改造車の場合、尾灯部分が2つに分かれており、内側は点灯させないので、内側から1.5mm×2.0mmのアルミテープを貼り遮光します。	側窓の前端下部を、運転室扉窓の少し下を通る45度の線で切り取ります。	スカートをカブラー胴受に固定するツメのうち、スカート・ステアーのモールドより上の部分を切り取ります。胴受への固定には、必要に応じてゴム系接着剤を併用します。	床板前端の両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。
(3aつづき)		3b. 動力ユニットを加工する (動力ユニットを組み込む場合)		4. ライトユニットを取り付ける
			4-1 前面窓をはめる	4-2 ライトユニットの取付
				
シート前端の運転台機器より前の部分(前項で切り欠いた部分より前側の部分)をカットします。	動力ユニットのスペーサーの両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。	動力ユニットのフレームのうち、前項で切り欠いたスペーサーからはみ出る部分を削り取ります。	前面窓をはめ、両面テープで固定します。	2mm×4mmのポリエステルテープを2枚用意し、ライトレンズの上辺に、車体内側にはみ出すように貼ります。
(4-2つづき)				5. 配線する
		5-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る		
				
ライトレンズをはめ、両面テープで固定します。	ライトユニットをはめ、両面テープで固定します。レンズ上辺に貼ったポリエステルテープを、ライトユニットにも貼付けます。	本紙のアルミテープ型紙を点線に沿って切り抜き、マスキングテープを使って、アルミテープの上に貼ります。カッターで、4片のアルミテープを切り出します。	写真のように、側窓ガラスの下側、床板と嵌合するツメの上に、アルミテープを載せます。ツメの先端からはみ出たテープは、裏側に折り曲げます。側窓の前後左右4箇所ツメの上に載せます。	側窓を車体にはめ、アルミテープの左右に広がった部分を車体に貼りつけます。

(5-1つづき)	5-2 側窓下をアルミテープで結ぶ	5-3 ライトユニットに配線する
 <p>両側・前後の4ヶ所のアルミテープを車体に貼りつけます。</p>	 <p>3mm × 64mmを2本切り出し、前後のツメの間を結ぶように貼りつけます。中央のツメは、ツメの下をくぐらせます。</p>	 <p>1.5mm × 16mmのアルミテープで、側窓下からライトユニットの給電パッドまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。</p> <p>ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm × 6mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</p>
5-4 側窓下を接続する		
 <p>3mm × 12mmのアルミテープで、側窓下の5-1のアルミテープと、ライトユニットからのアルミテープを接続します。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</p>		

●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

<p>0. パーツを作る</p> <p>乗務員室仕切り 型紙</p>  <p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p>	<p>1 棧を取り付ける</p>  <p>乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の中央に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、後側の切口までL字形に貼っておきます。</p>	<p>2 仕切りを取り付ける</p>  <p>乗務員室仕切りを、棧の後側に設置します。</p>
---	---	--

IG-0200 説明書 1.00
2022/07/03 1.00 初版

補修用にアルミテープ等を分売しています。
ism-works.shop-pro.jp をご覧ください。

《お問い合わせ先》
イズムワークス・直売所
〒249-0002 神奈川県逗子市山の根1-5-15。店舗営業はしていません。
phone: 0468-27-7261, 10:00~18:00 土日祝休業, e-mail: shop@ism-works.shop-pro.jp.

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp

